

女子第1部

女子第3部は3チームによる巴戦。今年も寂しい戦いとなった。しかし、3チーム共今秋の世界選手権大会代表選手を惜しげもなく出場させ、総力を挙げて厚生労働大臣杯の争奪戦を繰り広げた。結果、自衛隊体育学校が思わぬ逆転勝利で感動の初優勝を成し遂げた。

第1試合

女子第1部初戦は、積年のライバル同士の対戦となった。両者の対戦は最近4年連続してコマツに凱歌が上がる。三井住友海上火災保険は何としても汚名をすすぎたいところであったが、負傷で63kg級世界チャンピオンの上野順恵を欠き、片や重量級の切り札杉本を擁すコマツに、またしても苦杯を喫した。三井住友海上火災保険は前半でポイントを奪えなかったことが悔やまれる。

コマツ - 1 三井住友海上火災保険

(先鋒) 石川 慈 2段	引分	塩瀬 絢子 2段
(次鋒) 宇高 菜絵 3段	引分	中村 美里 3段
(中堅) 岡 明日香 3段	引分	阿部 香菜 2段
(副将) 谷本 育実 2段	優勢勝 ⊖	上野 巴恵 2段
(大将) 杉本 美香 4段	横四方固	高橋 千尋 2段

先鋒戦。石川は右組み、塩瀬左のケンカ組手。石川は、右から送足払、内股、小内刈、左一本背負投等激しく動いて終始攻勢に試合を進める。対する塩瀬は左から体落、送足払で応戦。石川は奥襟を握って、塩瀬の技が潰れたところを寝技で盛んに攻めるが攻め切れず。結局、決定打に欠け引分ける。

次鋒戦。地元愛媛県出身の宇高は右組み、対する元世界チャンピオンの左組み中村との注目の一戦。序盤、中村は1階級軽いクラスながら引手を制して、場外際から左大内刈で低く刈り込むも宇高は体を捻って逃れる。一方、宇高は1分過ぎ、中村得意の左小外掛を燕返で大きく浮かせ畳に落とすが、中村も体を捻って腹ばいで着地し難を逃れる。その後も両者の技の応酬が続くが、緊迫した場面は無く時間となり引分。

中堅戦。岡は70kg級右組み、阿部は63kg級左組みのケンカ組手。阿部は右引手で岡の左前襟を握るや素早く左袖を奪い、体落、小外掛、大内刈で攻める。一方の岡は、左引手を支配出来ないながらも、パワフルな左一本背負を盛んに仕掛け、阿部をぐらつかせる。3分10秒、阿部が右に行くと思わせる左出足払で岡は体勢を崩すが、体を捻って逃れ、惜しくも決まらず。試合は阿部の手数優るも決定打とならず時間。

副将戦。ここまで両者相譲らず、均衡した戦いで迎えた副将戦は、嘗ての63kg級における好敵手の妹同士の対戦。上背で優る上野は開始49秒、左右の組手争いから谷本の両袖口辺りを握って、大内刈と見せての左小内刈で有効を奪う。その後は、谷本は右体落、払腰、背負投、上野は左大内刈と目を離せない展開となるが、共に決め手なく時間となり上野の優勢勝。三井住友海上火災保険がリードを奪う。

大将戦。リードされたコマツは昨年の世界選手権東京大会を2階級制覇、日本女子柔道のエース杉本が登場。身長で勝るも体重で大きく劣る高橋は、右組みながら杉本十分の組手を避けての両袖を握って応戦。ところが、1分過ぎ、杉本は両袖を握っていた高橋の苦し紛れに仕掛けた右背負投を潰し、伏した高橋の右腕を巧みに制して裏返し、絞め技に入りながら脇をすくって1分24秒横四方固に押さえ込む。盤石な押さえ込みで高橋はなすすべもなく25秒経過。杉本、貫録の一本勝でコマツの逆転勝。

第2試合

三井住友火災海上保険2

-

自衛隊体育学校

女子の部第2試合は、中村、阿部二人のパリ世界選手権代表を擁すもののエース上野順恵を欠く三井住友海上火災保険と国原、池田の重いクラスのパリ世界選手権代表を配した自衛隊体育学校との対戦。試合は抜きつ抜かれつの伯仲の展開となったが、ポイント数で僅かに上回った三井住友海上火災保険が制した。

(先鋒) 塩瀬 絢子	2段	引分	小島 愛子	2段
(次鋒) 中村 美里	3段	(出足払) ⊖	平井 希	2段
(中堅) 阿部 香菜	2段	⊖ (内股)	國原 頼子	3段-

(副将)上野 巴恵 2段 ⊖ (大内返) 磯部 友里 2段
(大将)高橋 千尋 2段 (小内刈)⊖ 池田 ひとみ 3段

先鋒戦。左右のケンカ組手の両者、序盤は体格に勝る塩瀬が右引手を制す機会が多く、左足から内股、小外刈で攻撃を仕掛ける。小島は組み際に先手を取って右体落で攻める。2分42秒に攻撃の止んだ小島に指導1。しかし、その後は両者の激しい攻防が続くが決め手なく時間。

次鋒戦。中村は左組みから前に出て攻め、これを平井は両袖を握って攻撃を封じつつ、中村のお株を奪う足技で応じて中村を脅かす。しかし、1分44秒受ける場面の多い平井に指導1。ところが、2分50秒に平井は中村が小内刈に入る瞬間、出足払で横転させ有効を奪う。終盤は中村が更に攻勢を強めるが、中村の出足へ足技で応じる平井の試合運びに勝機を見出せず時間。自衛隊体育学校が先取点を奪う。

中堅戦。パリ世界選手権代表同士の戦い。ケンカ組手の両者、阿部は右引手で國原の左袖を握り、國原は左引手を阿部の右前襟に握って互いに組み合う。一つ重いクラスの國原は右自然体から内股、体落を繰り出し、守勢に回った阿部に1分10秒指導1。しかし、中盤になって阿部は前傾気味の体勢から左足を飛ばし低い内股で國原を回して横転させ、2分5秒に有効を奪う。中盤以降は、阿部は安全運転に移行し、國原は右背負投、大内刈で反撃を試みるが、潰れたところを阿部に寝技で攻められ時間を消費。三井住友海上火災保険がタイに持ち込む。

副将戦。上野は左組みから上背を利した内股、大外刈、大内刈で磯部を攻め、磯部は右組みから大内刈で応じるが上野は受け流す攻防が続く。ところが中盤、場外際で磯部が仕掛けた大内刈を上野が大内返で返すと磯部が横転。審判合議の結果、2分31秒、技ありの宣告。その後も上野の攻勢が続く、4分20秒、磯部に指導1。試合の流れは三井住友海上火災保険に傾く。

大将戦。同一階級ながら上背の劣る池田は左から小内刈、膝着きの体落で高橋を攻める。高橋は右体落、右内股、右払腰で応じる。開始2分を迎える頃になって、池田は自護体になって腰を引いた高橋に左足を飛ばして小内刈から体を捨てると、高橋は支釣込足で返すも斜め後方に倒れ込み、1分50秒有効。その後も池田が攻勢に攻めるがポイントはここまで。三井住友海上火災保険が内容差で勝利を収める。

第3試合

三井住友海上火災戦で明暗を分けた両チーム。五連覇を目指すコマツであったが、絶対の切り札大将の杉本が思わぬ不覚を取り勝利を逃がす。

コマツ 2 - 自衛隊体育学校

(先鋒)石川 慈 2段	⊖ (指導2)	小島 愛子 2段
(次鋒)宇高 菜絵 3段	(指導2) ⊖	平井 希 2段
(中堅)岡 明日香 3段	⊖ (払釣込足)	定形 美希 3段
(副将)谷本 育実 2段	引分	國原 頼子 3段
(大将)杉本 美香 4段	(小外刈) ⊖	池田 ひとみ 3段

先鋒戦。上背のある石川が右組みから奥襟を押さえて有利に組み、大内刈で小島を攻める。左組みの小島は左手を突っ張って受けの体勢。技の出ない小島に1分30秒指導1、2分17秒指導2。後半も石川は、大内刈、内股、小内刈で攻撃するが、小島もよくしのいで時間。コマツ先制の得点を上げる。

次鋒戦。同一階級の両者、互いに右組み、宇高の攻勢から始まるが、平井が組手を左に変えた頃から攻守ところを替え、徐々に平井の攻勢が強まり、3分7秒に宇高に指導1。その後、宇高は右内股で攻撃に転じるが、終盤に平井の攻撃を許し、4分35秒痛恨の指導2を受ける。時間となって、自衛隊体育学校がタイに持ち込む。

中堅戦。ほぼ同じ体型、右組み同士の両者の一戦。開始16秒、岡が左小内刈から左の払釣込足に変化し有効を奪う。その後の1分15秒には技が出ない定形に指導1。その後も岡の攻勢が続き3分丁度、定形に指導2。その後も岡の攻勢が続くが、それ以上のポイントを奪えず時間。

副将戦。開始早々、体格で一回り上回る國原は右組みから勢い込んで攻撃を重ねる。ところが谷本が右一本背負投、左袖釣込腰で揺さぶり始めると徐々に攻撃が止み、両者互角の攻防となる。残り12秒には組み合いを避けた國原に指導1が来て時間。コマツが1点リードのまま、杉本にバトンタッチ。

大将戦。共にパリ世界選手権代表ながら、78kg 超級の杉本が体格で圧倒し、内股、支釣込足で猛ラッシュを掛ける。ところが、1分35秒、杉本が無造作に右出足払いを掛けたその足を池田が小外刈で切り返すと、杉本は横倒しとなり技ありを奪われる。池田はすぐさま杉本の左腕を腕挫十字固で極める。完全に極まったと思われたが、杉本渾身の力でこれをしのぎ、1分53秒「待て」が掛かる。左腕を痛めた杉本は左引手を握らぬまま右内股、右払腰を連発し、2分57秒に指導1を、3分50秒に指導2を奪う。しかし、杉本の反撃もここまであと一つの指導を奪えず時間。結果2対2の内容差で自衛隊体育学校の勝利。

その結果、自衛隊体育学校が三者1対1ながら得失点差で上回り、被災地で震災復旧に取り組む同僚自衛官に激励と勇気を贈る感動の初優勝を遂げた。